

ご参加ありがとうございました

市内37か所で

市長とのミニ対話集会を開催しました

市 民の皆さまにご意見やご提案をいただき、市政に反映していくため、昨年度に引き続き「市長とのミニ対話集会」を各地で開催しました。

今後も、きめ細やかな対話の積み重ねを続けて参りたいと思いますので、よろしく願います。会場での皆さまのご意見の一部を紹介します。



◎ 自主防災組織について、集落で自主的に立ち上げるのは難しいので、行政からの働きかけをお願いします。公共施設などは災害時の避難場所として本当にそこが安全かどうかが不安です。

▲ 防災組織については、佐渡も5割近くできたと聞いています。近所でこの家の状態はどうかなど、みんなが助け合うシステムが必要だと考えます。犠牲者を出さないためにも、地域の支えあいが必要です。公共施設では、学校など新しい基準後のものは大丈夫ですが、すべての調査を進めていきたいと思えます。地震等災害の避難所として大丈夫かどうかの確認を行っています。

◎ 今後の佐渡観光と産業振興について、行政としてどう進めますか。

▲ 観光では、相川の再生に5億。観光ルネッサンス事業では、能の解説を同時通訳で流す試みをしています。農業は、米など特色を出すように考えています。漁業については、市場までの鮮度落ちが激しいのでその対策が必要です。企業誘致については、若い人とのバランスを考えなければならぬと思います。また、行政に依存しない新しい取り組みなどへ補助をしていきたくなっています。今、佐渡の発信力は強くなっていますので、環境のキャッチフレーズのもとに、大学や企業が「佐渡学」に注目しています。工夫によって人が呼べれば、産業界へのお金は回ることになると思います。

◎ 独自の活動や地域の文化風土を大切にしています。地元保育園や学校がないという状態は、地域の活気にも繋がるので、存続を希望します。

▲ 佐渡の特殊性として、保育園・学校が多いのが現状です。地域の思いは活性化の拠点としての考えがあると思えます。まったく無謀なやり方はできません。地区の意見を聞きながら市としての方向を説明し、理解を得なければならぬと思います。客観的に財政を見て、みんなで考える事が重要です。地域に多く子どもがいるという仕組みを考えていくことも必要です。

◎ 公営駐車場については無料となっていますが、廃止するという話を聞きました。お金を払ってでも今までのように利用したいので、利用者の意見も聞いていただきたいと思えます。

▲ 駐車場については、必要か必要でないかを調査し、借地の場合は土地を買い取る方向で進めたいと思います。利用者の実態を把握したうえで、地域の方、企業の方にも入っていただいで協議をしていきたいと思えます。市がすぐに手を離すということではなく、話し合いのうえ進めていきたいと思えます。

◎ 年々支所の職員が減っています。地域の先細りや行政の格差が広がるのではないのでしょうか。

▲ 地域特性もあり、佐渡は職員の数が多くということがあります。今は毎年50人の減です。50人減ると4億円削減できます。合併に際して佐渡を4ブロックに分けて、支所を少しずつ廃止していく方針でしたが、反対があつて合併後10年の後半に送らざるを得なくなりました。施設や学校等は統合が避けられないのですが、「あれもこれも」から「あれかこれか」の選択が必要になります。統合ができずに経費がかかれば道路整備などができなくなってしまうと思います。入ってくるお金(歳入)が決まっているので、皆で使い方を考えてもらうことがいいと思えます。